

令和2年1月吉日

山形県理学療法士会会員各位

一般社団法人山形県理学療法士会
会 長 岩井 章洋
学 術 局 長 大原 隆洋
第29回山形県理学療法学会
大 会 長 佐藤 泰
準 備 委 員 長 島田 佳美

第29回山形県理学療法学会の開催および演題募集について（ご案内）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より当会活動にご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、第29回山形県理学療法学会を下記により開催いたします。テーマを『自己実現～自己の理想とする理学療法士になるために～』と題し、基調講演、教育講演、シンポジウム及び演題発表等を企画し、盛大な大会になるよう準備を進めております。

多くの皆様にご参加いただきたくご案内申し上げます。

なお、当日のプログラムについては未確定なところもあるため、確定後にホームページやFAXでのアナウンスを予定しております。

あわせて、理学療法および関連分野に関する演題を募集いたします。別添の演題募集要項をご確認の上、奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。

ご多忙とは存じますが、より多くの皆様のご参加とご発表をいただきたくお願い申し上げます。

敬具

記

大 会 名：第29回山形県理学療法学会
会 期：令和2年6月20日（土）・21日（日）
会 場：さくらんぼタントクルセンター（東根市）
テ ー マ：『自己実現～自己の理想とする理学療法士になるために～』
大 会 長：佐藤 泰（新庄徳洲会病院）
大会参加費：会員 3,000円、非会員 4,000円、学生 1,000円

<添付文書>

- ・第29回山形県理学療法学会趣意書
- ・第29回山形県理学療法学会演題募集要項

第 29 回山形県理学療法学会学術大会趣意書

自己実現

～自己の理想とする理学療法士になるために～

第 29 回山形県理学療法学会学術大会

大会長 佐藤 泰

近年の社会構造の変化は、理学療法士を取り巻く環境、求められる役割を複雑多岐にし、働き方だけではなく、学び方にも大きな影響を与えていると思います。

我々理学療法士は、社会のニーズや環境の変化に応じた生涯学習を継続することが重要であると考えます。その一方で、必要性を理解しながらも、自身の専門性との違いや組織内での役割等により変化に対応した行動がとりにくい状況になってきていると感じます。

このような課題に直面し役割を見失いそうになった時、自己の理想とする理学療法士像に立ち返ることがとても大切であると思います。その理想像を実現するためには、自ら学ぶことや自ら行動する意識が重要になると考えます。その思いが今ある課題を乗り越える力となり、より質の高い理学療法士への第一歩になると考えます。

そこで、本学術大会ではテーマを『自己実現～自己の理想とする理学療法士になるために～』とし、各々の理想とする理学療法士像に向けて意欲的に取り組む機会にできればと考えています。

基調講演では、目の当たりにしている理学療法士の現状と課題、そして自らの経験を通して自己実現のために理想の理学療法士像を持つことの重要性を提起させていただきます。

シンポジウムでは、県内の若手、中堅、ベテランの 3 名の先生方に、理想とする理学療法士像、これまでの取り組み、現状とこれからの課題などをご紹介頂きます。各世代の先生方が、自己実現へ向け具体的にどう取り組まれてきたかを知って頂くことで、会場の皆様の自己実現への端緒となる場を作りたいと思っています。

教育講演では、経験学習の第一人者である北海道大学大学院経済学研究院の松尾睦先生より、『経験から学び、人を育てる』と題し、自己の経験をどう捉えどう行動していけばよいのかをご説明頂き、経験学習の観点から自己実現に必要な成長の仕方について学んでいきたいと思っています。

市民公開講座では、柴田内科循環器科クリニックの柴田健彦先生より、『人生の最期を迎えるための心構え』と題し、今後訪れる多死社会を見据え、看取りの現状や本人、家族、関係者にどのような心構えが必要なのか、また理学療法士にはどのような役割が求められるのかをご講演頂きます。

本学術大会が、皆様の理想の理学療法士像に近づくための一助となり、よりステップアップし、それぞれの立場で社会に貢献できる理学療法士に成長できる機会となる事を願っています。多くの会員の皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

第 29 回山形県理学療法学会大会演題募集要項

【応募資格】

1. 筆頭演者は、一般社団法人山形県理学療法士会の会員の方に限ります。また、会員でない方は、演題応募までに会員登録手続きを行ってください。

【応募方法】

1. 下記応募先のメールアドレスまで、抄録を添付し演題の登録をお願いします。
2. 電子メールの件名は、『第 29 回山形県理学療法学会大会演題申込み』とし、電子メール本文には以下の項目を明記してください。
 - ① 筆頭演者氏名
 - ② 日本理学療法士協会会員番号
 - ③ 所属施設（自宅会員の場合は自宅）
 - ④ 所属施設住所（自宅会員は住所）
 - ⑤ 連絡先電話番号
 - ⑥ 連絡先電子メールアドレス
 - ⑦ 発表テーマ
 - ⑧ 発表形式（口述、ポスター一般、ポスター新人症例発表から一つを選択）
3. 筆頭演者本人のメールアドレスで登録をお願いします。なお、こちらから添付ファイルをお送りすることもございますので、携帯電話のメールアドレスでの登録はできません。

【登録期間】

令和 2 年 1 月 27 日（月）～ 令和 2 年 3 月 6 日（金）

【発表形式】

1. 発表形式は口述発表およびポスター発表です。
演題応募の際に、口述発表またはポスター発表の希望をお知らせください。
2. 本学会大会では、**理学療法士資格取得後 3 年以下もしくは新人教育プログラム未修了者**の会員を対象に、ポスター新人症例発表のセッションを設けます。
3. 筆頭演者としての発表は 1 人 1 演題でお願いします。
4. プログラム編成の都合上、希望した発表形式を変更していただく場合がありますので、予めご了承ください。
5. 発表時間、会場に用意する発表用 PC、ポスター掲示板のサイズ等の機材詳細は、プログラム・抄録集、山形県士会ホームページおよび FAX にて後日お知らせします。

【演題応募に関する注意点】

1. 「ヘルシンキ宣言」または「臨床研究に関する指針」などの倫理的問題について演者の責任で遵守されるようお願いいたします。
2. プライバシーや人体に影響を与える内容に関しては、対象者に説明と同意を得たことを本文中に必ず明記してください。
3. 演者の所属する機関の倫理委員会で承認された研究である場合は、その旨を抄録中に記載してください。
4. 倫理的に不適切な内容の演題については、学術大会部で協議し、修正をお願いするか不採用となる場合があります。
5. 応募された演題と学会当日の発表内容が大幅に異なることのないようにしてください。
6. 内容の類似した複数演題および他学会や雑誌等で発表済みの演題応募はご遠慮ください。
7. 第 29 回山形県理学療法学術大会では、利益相反（COI）の有無に関わらず、発表スライドまたはポスターにて COI の開示をお願いします。COI についての抄録への記載は不要ですが、申告すべき事項や条件については、演題登録前に必ず確認してください。申告すべき事項と条件は日本理学療法士学会の基準に準じます。

【 http://www.japanpt.or.jp/upload/jspt/obj/files/shinsa/jspt_coi.pdf 】

【抄録について】

1. レイアウトは 2 段組みとし、余白は上下・左右とも 20mm としてください。英数字は半角としてください。
2. 演題番号は受付後、こちらで記入しますので入力しないでください。
3. タイトルは日本語用フォントを MS ゴシック、英数字用のフォントは Century を使用し、フォントサイズを 10pt とし、太字としてください。
4. 氏名・所属・キーワード・本文は日本語用フォントを MS 明朝、英数字用のフォントは Century を使用し、フォントサイズを 8.5pt としてください。
5. 所属施設名は省略形を用いないもっとも短い表記を心がけて下さい。また、可能な限り法人名ならびに部署名を省略いただくとともに、同部署から複数の演題を登録する場合は、同一の施設名称に統一してください。
6. キーワードは標準的な用語で単語一語とし、カンマ（,）区切りで 3 個以内を記載してください。
7. 本文は、文字数を日本語全角換算（半角英数字は 2 文字で 1 文字）で 1,500 字以内とし、【はじめに・目的】・【対象及び方法】・【説明と同意】・【結果】・【考察】・【まとめ】などの小見出しを必ずつけてください。小見出しも文字数に換算されます。
8. 本文の行間は最小値とし、2 段組みの 1 段分の範囲に納まるようにしてください。
9. 本文は、可能な限り文章表現での記載を心がけてください。
10. 抄録に図表は使用できません。また、参考文献の記載の必要はありません。

11. 装飾文字の使用は次の5種類（太文字、イタリック文字、アンダーライン、上付き文字、下付き文字）のみとしてください。
12. 文字種は入力出来ているものは使用可能です。
13. 抄録の内容と、当日の発表が大幅に変わることを無いうようにしてください。

【演題の採択について】

1. 演題を応募していただいた後、学術大会部より受付完了の通知を連絡します。受付完了後は抄録の修正はできませんので、予めご了承ください。
2. 学術大会部で校閲後、演題の採否を決定します。
3. 演題採択結果は応募していただいたメールアドレスに後日連絡します。なお、採択後は取り消しができませんのでご了承下さい。

【個人情報保護について】

1. 本学会の演題登録の際にお預かりいたしました「氏名」、「連絡先」等の個人情報は、学術大会部よりお問い合わせや採否・発表通知に使用します。また、「演者名」、「所属」、「演題名」、「抄録本文」は、プログラム・抄録集に掲載することを目的として利用します。他の目的には使用しません。

【その他】

1. 本学術大会で演題発表した方は、学会発表の履修ポイントまたは新人教育プログラム「C-6 症例発表」の3単位が取得可能です。

数多くの応募をお待ちしております。なお、不明な点がございましたら下記までお尋ねください。

応 募 先； 〒999-3792 東根市温泉町 2-15-1
北村山公立病院 リハビリテーション室
学術大会部 鈴木 郁美
TEL : 0237-42-2111 FAX : 0237-43-6169
E-mail : yamagata_gakkai29@yahoo.co.jp

問い合わせ； 〒999-3716 東根市大字蟹沢 897-1
特別養護老人ホーム 第二白水壮
準備委員長 島田 佳美
TEL : 0237-41-1121 FAX : 0237-42-6121
E-mail : oceanus-ysmc70@outlook.jp